マタイの福音書
聖書講解シリーズ

4）エジプトへの避難

マタイ 2:13-18

2019.1.13　HKJCF

概観

予期せぬ出来事や**迫害**が訪れる時、私たちは**どのように理解し、どのように行動すれば**いいのかを学びたい。

<u>アウトライン</u>

1. ヨセフの従順
2. ヘロデの残酷
3. 神様のご計画

1. ヨセフの従順

1）<u>神様の備え</u>：羊飼い→**東方の博士たち**；さらに**確信**が強まった。**夢**を通して介入され、**二回目**の体験⇒信仰が**徐々に育つ**。

2）<u>エジプトへの避難</u>：ヘロデ王の**管轄外**；　**アレキサンドリア**の可能性；**ヨセフの家族→モーセ**の出エジプト。イエス＝**新しいモーセ**。

3）<u>ヨセフの従順</u>：**夜のうちに**逃げた；**大きな決断**。ナザレ→ベツレヘム→エジプト；**難民のように**避難。博士たちの**贈物**でまかなった。

2. ヘロデの残酷

1）<u>東方の博士たちの避難</u>：**夢**を通して自分の国に戻った；神様の介入で**信仰が強まる**。

2）<u>ヘロデ王の残酷</u>：「*時間から割り出した*」；**権力マニア**と**妄想**で2歳以下の男の子を殺害→**パロ**を連想させる。

3）<u>殺害された男の子たち</u>：**約20人**；取り上げられなかったニュース；**マタイは記録した**。

4）<u>神様は見ておられる</u>：神様は**無関心ではない**；イエス様は自ら**すべてを体験された**。

3. 神様のご計画

1）<u>ユダヤ人クリスチャン</u>：**旧約預言の成就**が**一番納得⇔ご介入**と直接の**触れ合い**。

2）<u>ホセア 11:1</u>：エジプトの支配からの脱出⇒**神の子**の使命＝**罪の支配からの解放**。

3）<u>エレミヤ 31:15</u>：**ラケルの嘆き**＝バビロン捕囚の悲しみ⇒**帰還できる希望**（エレミヤ 31:16-17）；**平安を与える**計画（エレミヤ 29:11）。

4）<u>母親たちの涙</u>：ラケルを通しての**神様の慰め**；神様のご計画＞**悪の勢力**。

適用

1）<u>信仰生活は苦しみと犠牲が伴う</u>：

ヨセフ一家は**難民のように**、エジプトへの避難を強いられた。

2）<u>神様の時で必ず報いられる</u>：

ベツレヘムの母親たちは、マリヤのように**苦しみを経てから**、必ず神様に報いられる。